



The Y's Men's Club of Sendai

仙台ワイズメンズクラブ 2017 年 6 月報

- 国際会長主題 「私たちの未来は、今日から始まる」
- アジア地域会長主題 「ワイズ運動を尊重しよう」
- 東日本区理事主題 「明日に向かって、今日動こう」
- 北東部長主題 「明日のために、いま土台を築こう」
- クラブ会長主題 「笑顔で今活動を」～出愛・ふれ愛・学び愛～

会 長 吉田一恵
 副 会 長 佐々木絹子
 書 記 横倉 純
 会 計 田中京子
 メネット会長 田村成子
 担当主事 鈴木陽子

仙台クラブ事務所 : 〒980-0822 仙台市青葉区立町 9 番 7 号 仙台YMCA内
 仙台クラブ Facebook: <https://www.facebook.com/sendaiys/>

<今月の聖句>

「わたしたちは、与えられた恵みによって、それぞれ異なった賜物を持っていますから、預言の賜物を受けていれば、信仰に応じて預言し、奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に専念しなさい。また、教える人は教えに、勧める人は勧めに精を出しなさい。施しをする人は惜しまず施し、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい」

ローマの信徒への手紙 第 12 章 6 節～8 節

6月の例会

日 時 : 6月20日(火)

18:30～20:30

会 場 : 個室居酒屋「壘門」

仙台市青葉区国分町

会 費 : 4,000 円(メン・メネット共)

司 会 : 佐々木絹子

食前感謝 : 鈴木陽子

5 月例会報告

在籍者	18 名
出席者	6 名
メイキャップ	3 名
ゲスト・ビジター	11 名
メネット・コメント	1 名
出席率	50.0%
ニコニコ	14,200 円



巻頭言

「2016-2017

一年を振り返って」

吉田 一恵

「笑顔で今活動を」～出愛・ふれ愛・学び愛～を主題に掲げて、ワイズの信条五つを胸に走りだしました。

何しろ人前で話をするのが一番苦手な私、毎月の例会時の挨拶、数々の催しに参加の時に挨拶、スピーチを求められた場合、クラブの名に恥じない話ができるかが一番心配でした。また、この一年クラブ会員の皆さんに果たして不安を与えずに、会長職を全う出来るか責任を背に邁進して参りました。会員の皆様並びにそれぞれの役員の方々のご指導ご協力のお陰で最終の6月を迎えることが出来ました。感謝申し上げます。

目標の「ブリテンに会員の全員参加」、皆さんから素晴らしい「巻頭言」「私の好きな言葉」の原稿を頂きました。私は毎月のその欄を拝見するのを楽しみにしていました。そして多くを学びました。多くの会員の皆さんが貴重な時間を費やして行事に参加して頂き、原稿を提供して下さいましたお陰で、休刊せず発行出来た

部分ではクリア出来たと思います。しかし、今の時代に合った魅力あるワイズ勧誘に繋がる記事を載せられなかったことは反省しています。

もう一つの目標の「新会員に繋がる活動」はヒントを得る為に数々のクラブの例会、クラブやYMCAのイベントに参加し、学び交流を深めましたが、クラブへの入会まで運ぶことが出来なかったことは心残りです。次期会長に委ねることにいたします。

2017年6月3日～4日開催された第20回東日本区大会では仙台クラブはBF使用済み切手収集で優秀賞を頂き、その他努力賞等で4枚賞状を頂きました。各クラブの活動の報告から学び、楽しいクラブに変える手助けを目指してこれからもワイズを誇りに進みたいと思います。

5月例会報告

日時：2017年5月16日（火）19：00～21：00

会場：仙台YMCA会館 会議室

出席者：小幡・鈴木・高松・田村メネ・中川・横倉・吉田

ゲスト：渡辺祥子さん（卓話者）、加藤メン・メネット、金原メネット（仙台青葉城C）、門脇メン（仙台広瀬川C）、加藤雄一さん、小林尚美さん、西沢優花さん、高橋直子さん（YMCA）、須永せつ子さん、千葉久代さん（吉田会長友人）

内容：

いつも例会に出席の会員が各々所用と重なり欠席者多く、折角ゲストスピーカーを招いているのに、と少々焦りましたが、他クラブはじめ、Yスタッフ等への声掛けにて卓話者含め11名のゲストをお招きできました。

司会は横倉書記、今月の聖句、ワイズソング、ワイズの信条、会長挨拶と続き、11名のゲスト紹介。吉田会長友人の須永さん、千葉さんはそれぞれ生け花と書道のお師匠さんで「本日のスピーチを拝聴したく参りました」と。ゲストの方々から一言挨拶を頂いた後、小幡メンの食前感謝を受け、味のふるさと弁当を戴く。

ゲストスピーカーはフリーアナウンサーで朗読家の渡辺祥子さん、演題は「言葉の力・生きる力」。タイトルから何となく想像していたものがありましたが違いました。

スピーチの要旨は次のような内容でした。『スタートはラジオで、ちょっとした言葉に敏感になり過ぎた時期もあった。人の言葉の使い方、言葉でのアプローチなど、言葉を味わい、また、著名人の重みのある言葉に接しては感動を覚えながら仕事に携わってきたが、3.11の東日本大震災により、仕事が全くなり「言葉の力」なんて何の役に立つんだ…と、しばらく悩みの時を過ごしていた。ある時、意を決し3人の友人に手紙を書いたことから新たな活動が始まった。山口県宇部市のママさんバレーの皆さんに被災地の心を伝えたことから始まり、被災地を巡り、多くの方々の声を聴き、これまで全国70か所でその心を伝えてきている。

南三陸町の山内さんは「10億かけてダイエットしたど〜…」「がっかりはしたけど、落ち込むことはなかった」と、山元町の藤波さんは「今、目の前に起こっていることが、私の人生・・・」、関上の小学六年の菊地里帆子ちゃ



んは「多くの人の支えに感謝し、いつか恩返しをしたい。小さな力でも誰かの役に立つと思う…」、筋ジスの難病者である巨理町の太越桂さん（28才）は「かつて私は石だった」が、大震災後皆が私に近づいてきて「風呂に入って幸せだった」と言う、当たり前なのが有難いと思える、その時自分の強みが分かった、私の仕事は「生きること」だと…。などなど、それらの声を一冊の本にまとめられ「ことづて」として発刊された。

3人の友人に手紙を書いたことは「想いの力」を「踏み出す力」につないだこと、そして被災地を巡り、全国を回り「人は一人では生きられない」ということを、改めて認識させられました。』であった。

連絡報告ではバザー委員会報告があり、値付け作業の日程等が周知された。また、高松ワイズから、白血病で闘病していた西中田保育園の園児が快復し復園したが、新たに一人の園児が白血病になり闘病しています、皆さんのお祈りを願います、と話された。

誕生祝い、ニコニコと進み、閉会挨拶は中川ワイズ「東北放送のアナウンサーの方と縁があり、講演をして頂いたこともあり、渡辺さんのスピーチとの共通点もありました。言葉について皆さんなりに、受け止められてください」と述べられ、閉じられた。ニコニコ14, 200円

6月強調月間「評価」

今月は「評価」の月です。2016-2017年度も最終の月となりました。2017年6月3日～4日川越にて、第20回東日本区大会が開催されました。今期行われた各クラブのさまざまな活動報告から学び、それぞれのクラブでの活動、個々の活動を振り返り、目標に達したこと、次年度へ引き継ぐことなどを話合しましょう。

これからも、明るく楽しい活動が送れますよう、健康にお気をつけて邁進いたしましょう。

第20回東日本区大会に参加して

今澤 智代

2017年6月3日、4日、川越市にて東日本区大会が開催されました。仙台クラブからの参加者は吉田会長、横倉書記、今澤の3人です。

3日、川越駅に降りた時は（かなり暑いと予想していたので）涼しくて大丈夫… とちょっと安心した気持ちになりました。大会は「ウエスタ川越」で開催されました。10時30分から年次代議員会、メネットアワー等既に大会は始まっていましたが、私は午後のセレモニーから参加しました。

6月3日（土）

オープニングセレモニーでは、菅原町の道真囃子連の方々が登場、川越祭りの雰囲気を出して、会場を盛り上げていました。バナーセレモニーでは東日本区58クラブ、西日本区11クラブが登場、いつもながら感動しました。13時20分から開会式が始まりました。利根川理事の開会宣言、来賓祝辞は川越市長の川合義明氏をはじめとして5人の方々からいただきました。20周年記念プログラムとして、前理事、前国際会長、前アジア会長の紹介がありました。今までの種々活動に対して、お疲れさま、ご苦労様と労いの気持ちの大きな拍手が会場いっぱいになりました。

休息をはさんで16時から「ローカル線を救うおもてなし」と題して、鳥塚亮氏の記念講演がありました。ローカル線をなくしたくないという思いで、ずっと頑張ってきた方、発想がとてもユニークで活動的で楽しい方という印象でした。鳥塚亮氏の略歴は1960年生まれ、子供の時代から乗り物が好きで、20年以上にわたり一貫として成田空港で、旅客、運輸部門勤務、旅客運輸部長。在職中、鉄道DVDを製作する有限会社パシナコーポレーションを設立。現在まで21年間、電車の運転





席から前方の風景を撮影した前面展望ビデオを製作出版。日本で最多の鉄道ビデオを販売している。18時から多目的室にて晩餐会が行われました。425人の参加者があり、大賑わいでした。

6月4日(日)

9時40分から東日本区アワー、各分野の活動に対する表彰式がありました。仙台クラブはBF使用済み切手で優秀賞、TOF銅賞(達成賞)、CS献金達成賞、ロースター広告協力賞、ノンドロップ賞(退会者ゼロ)を頂きました。各事業報告に続き、次期理事、役員引継

ぎ式が行われました。次期理事の所信表明では会員増強を目指す事を強調しておられました。定刻より少し遅れて閉会しました。閉会後はエクスカージョンに参加しました。

蔵の町、喜多院を見学、徳川幕府と深いつながりを持つ由緒ある喜多院には、徳川家光誕生の間、春日局の間がありました。蔵の町はびっくりするほど多くの店が並んでいました。戦国時代が終わり、江戸時代になって平和になり、戦う事がなくなり、その頃江戸の武士が川越に移り商人になった人がずいぶんいたのです。歴史に興味のある方は一度見学したら良いかと思えます。

川越駅16時40分着、ツアーに参加のみなさんと再会を約束してお別れしました。川越の皆様、お世話になりました。ありがとうございました。



仙台広瀬川クラブ5月例会に出席して

吉田 一恵

日時 2017年5月17日 18:30~20:30

場所 仙台YMCA会館 会議室

ゲストスピーカー: 尾木善宣さん(NPO法人仙台YMCAファミリーセンター総括)

ご案内を頂き、横倉書記と私の2名が出席をしました。菅野メンの司会で例会は進行しました。

始めに「黙祷」、及川会長の開会点鐘、出席者一同によるワイズソング、ワイズの信条朗読、吉田メンによる今月の聖句・感謝の祈り、及川会長のあいさつ、「富谷市放課後児童館開設余話! Yへの期待とその課題」と題して尾木善宣さんによる卓話がありました。

富谷町はどなたからも「住みたい」・「住んでよかった」と思ってもらえる町を目指し、まちづくり将来像・基本理念を「住みたくなるまち日本一」と定めて100年間ひとが増え続けるまち、村から町へ町から市に2016年10月10日に町から市に生まれ変わりました。「子育てがしやすい街」としても有名で、若い世帯が多く移住して来ている地域で、医療費助成制度が18歳まで対象としている。富谷市には8つの児童クラブ施設があり、そのうち富ヶ丘・あけの平・日吉台の3施設を仙台YMCAが受託する事になったこと。期待もあり、課題も見えて来た等のお話がありました。

各活動報告では門脇メンからDBCの金沢クラブ訪問の詳細については金沢、能登市内観光も含めブリテンを見て頂きたいとのこと。またアルミ缶収入報告、5月27日の石巻広域クラブ1周年記念



例会に4名出席の報告がありました。

仙台クラブの横倉メンの住んでいる富谷市、仙台YMCAが受託する事になった3施設へ、仙台クラブとしてなんらかの支援活動が出来ればとの思いもあり、いろいろな状況等を知るために出席しました。

石巻広域ワイズメンズクラブ1周年記念例会に参加して

横倉 純

5月27日(土)17:00~石巻グランドホテルにて、石巻広域クラブの1周年記念例会が開催され、吉田会長と私が出席をしました。青葉城クラブから7名、広瀬川クラブから4名、もりおかクラブから2名それぞれ出席があり、総勢41名の皆さんでした。

第1部は記念例会、ゲストの石巻かほく編集部長の伊藤浩さんから、記念のスピーチがあった。『実家は石巻市雄勝で母が一人暮らしをしていて、時々帰っていた。大震災の四日後にやっと実家に行けたが、母は家共々流され亡くなった。半年後にDNA鑑定で遺体を確認できた。当時「津波が憎い!」の感情むき出しで、思いのたけを新聞に書いた。ハワイオアフ島で見つかった釣り船が、いろいろの努力をした結果5年後に雄勝へ戻った。今、「帰ってきた小舟」を震災遺構として残すべく取り組んでいる。』と語られた。

第2部は感謝会、開会セレモニーでは仙台在住のギタリスト橋一章さん(タッチー)の軽快なギター演奏があった。

青葉城クラブの加藤会長の乾杯の発声で食事懇談となる。ゲストの仙台大学客員教授・登米伊達家の伊達宗弘さんからは「日本人の持つ民族性、非常時でも決して乱れぬ、独特の礼節や、たたずまいについて」、石巻日日新聞社・常務取締役、武内宏之さんからは「今、目に見えない復興の問題がある、30代の自殺者が増えているのが現状です」とそれぞれ、挨拶の中で述べられた。

最後に石巻広域クラブの会員の皆さんから一年を振り返っての感想が語られた。



他クラブプリテン記事紹介

札幌北クラブ 1月合同例会報告「いのちの電話」抜粋

会長 高杉 純二

前略 スピーカーは北海道いのちの電話の杉本氏。

北海道いのちの電話は設立後40年になり、述べ800名がボランティア相談員として認定されています。目的は自殺防止にあり、悩みを持つ多くの人々からの電話での相談を受けています。普通の主婦や社員が一定の研修を受けて相談を受けることとなりますので、相談の受け方にはいのちの電話としての基本を定めています。それが「傾聴」という手法で、心理学的にも有効とされています。

杉本氏は相談員から現在は事務局員として経理を担当し、加えて相談員研修担当者として、後輩相談員の指導に携わっています。今回のテーマはその「傾聴」についてです。とかく相談となると、自分の思いや意見を押し付けることになったり、「がんばれ」と励ますことになりがちですが、押しつけや励ましは悩んでいる人にとっては何の役にも立ちません。かえって反発に繋がります。そこで有効なのは、悩んでいる人の悩みや思いをとことん理解することです。それが「傾聴」です。

話すことによって自分の悩みが客観的に整理することが出来て、自ずと自分で悩みを整理する効果が期待できます。相談員はそのお手伝いをします。相談室には三つのブースがあり、3人の相談員が電話

を受けていますが、相づちや質問の声がほとんどで、こちらの意見を語る人はいません。相手の思いを聞くときには共感して涙をみせている相談員もいます。一人当たりの平均相談は30分です。200人の相談員が年間にとる電話は約2万件です。一人の相談員が1年間に100回の相談を受けていることとなります。杉本氏は札幌市が展開している自殺対策事業に携わるゲートキーパーの方々への「傾聴」の研修にも携わっています。

5月第2例会報告

日時：2017年5月2日（火） 19:00～20:40

会場：仙台YMCA会館 会議室

出席者：佐々木・鈴木・田中・田村メネ・横倉・吉田

- ① 6月例会は、例年にならい一年間を振り返り、吉田会長はじめ皆さんの活動の、ねぎらいの会とする。会場は居酒屋「亜門」にて、会費は4,000円と決定。
- ② 川越で開催された第20回東日本区大会の報告が吉田会長よりなされた。仙台クラブはBF使用済み切手収集第1位の優秀賞に加え、CS献金達成賞・TOF献金達成賞・BF使用済み切手収集協力賞・ロースター広告協力賞の計5部門での受賞があった。6/11（日）に開催する仙台YMCAバザーの仕入れ品、準備物等の最終確認を行った。
- ③ チャリティーランは9月23日（祝）、チャリティゴルフは10月19日（木）の開催を確認する。
- ④ 西中田保育園では6/28（水）に「動物と遊ぼう会」10:00～11:30、7/8（土）に「ワイワイ夏まつり」10:00～12:00が開催されます。ご協力頂ける方は高松園長まで（090-4310-1539）ご一報をお願いいたします。尚、今後の行事については随時お知らせさせていただきます。
- ⑤ 仙台YMCA「新入職員歓迎会」が7/13（木）19:00-21:00に開催されます。会費は3,500円程度で、会場は別途周知されます。予定に入れて頂ければ有難く思います。



6～7月の主な予定

日程	内容
6月29日（木）	仙台YMCAチャリティーラン委員会 場所：仙台YMCA会館 会議室
7月 6日（木）	仙台YMCA立町会館 避難訓練
7月13日（木）	仙台YMCA職員共済会 新入職員歓迎会 場所：未定 19:00～

編集後記

まもなく仙台も入梅となり、じめじめとした日が続きます。一番の悩みは洗濯物がなかなか乾かないことです。洗濯物が外に干せるような日が少しでも多いことを願っています。（Y.S）

